

記載例

様式第1 (第2条、第3条関係)

罹災 (届出) 証明申請書

令和6年10月2日

鹿児島市長 殿	申請者 (罹災した人)
	住所 鹿児島市山下町11-1
	ふりがな かごしま たろう 氏名 鹿児島 太郎
	電話 099-216-1179
	代理人氏名 鹿児島 花子 申請者との関係 妻
※本人以外の申請は委任状が必要です (市内に住民登録のある同世帯の方が申請する場合は委任状を省略できます)。	
下記の災害により、罹災したことを証明願います。	
罹災した日	令和6年10月1日
罹災原因	<input checked="" type="checkbox"/> 豪雨 (大雨) <input type="checkbox"/> 台風 (号) <input type="checkbox"/> 地震 <input type="checkbox"/> その他 ()
罹災した場所	鹿児島市山下町11-1
罹災した物件	<input checked="" type="checkbox"/> ①申請者が生活の本拠として日常的に使用している住居 (住民登録に 同じ ・別) <input type="checkbox"/> ②上記①の住居以外の建物 (店舗・事務所など) <input type="checkbox"/> ③上記①②以外 ()
罹災の状況 (具体的に)	豪雨により、1階がほぼ浸水した。浸水した外壁や内装がすべて剥がれ落ちて、中の板がむき出しになった。
申請者と罹災した物件との関係	<input checked="" type="checkbox"/> 所有者 <input type="checkbox"/> 管理人 <input type="checkbox"/> 居住者 <input type="checkbox"/> その他 ()
提出先	<input checked="" type="checkbox"/> 官公署 <input type="checkbox"/> その他
合計	1 通

※必要書類：被害箇所等の写真、申請者 (代理の場合は代理人) の本人確認書類 (運転免許証、マイナンバーカード等)

市記載欄

罹災届出証明書

上記のとおり、罹災の届出がなされたことを証明します。

年 月 日

鹿児島市長

印

※この証明書は、災害による住家以外に対する被害について写真等で確認の上、発行しています。被災者からの罹災の届出があったことを証明するものであって、民事上の権利義務関係に効力を有するものではありません。

申請内容についてお問い合わせをする場合がございますので、電話 (連絡先) をご記入ください。

※罹災した物件が①に該当する場合の記載

住所は罹災したときに居住していた住所をご記入ください。

代理人の氏名と申請者との関係をご記入ください。

代理人の場合は委任状が必要になります (鹿児島市内に住民登録のある同世帯の方の場合は委任状を省略できます)。

罹災した日： 災害発生日 (又は建物などが被害にあった日)

罹災原因： 原因となった災害の種類

罹災した場所： 被害のあったところ (マンション等は建物名・号室まで) をそれぞれご記入ください。

罹災した物件：

①： 日常的に使用している住居の場合は①にチェックし、住民登録の該当部分を「○」で囲んでください。

②： ①以外の建物 (店舗、事務所、アパート等の所有者 (罹災した場所に居住していない) 等は②にチェックをしてください。

③： ①、②のいずれにも当てはまらない場合 (カーポートや塀などの工作物等) は③にチェックし、() に具体的にご記入ください。

罹災の状況 (具体的に)： 具体的な被害の内容をご記入ください。

※罹災した物件が複数ある場合は、その該当する番号にチェック (例えば、住宅付店舗は①と②にチェック) をしてください。

※②及び③は申請書をそのまま使用し、罹災の届出があったことを証明する

「罹災届出証明書」を発行します。提出先に分かるように「罹災の状況」をご記入ください。また、①の場合でもベランダや玄関ポーチなどの「災害の被害認定基準」に当たらない部分の被害は、結果として「罹災届出証明書」になる場合があります。

罹災した物件との関係：

その他の例：相続人 (現所有者)、使用者 など

提出先： 官公署かその他 (官公署以外) を選択してください。

交付枚数は原則1枚です。原本は提示用として使用し、提出が必要な場合は写しを提出してください。再交付はいたしませんので、原本は大事に保管してください。